

1 住民主体のまちづくり活動の手法

(1) 広島市の各種補助金を活用する手法

本市が、住民主体のまちづくり活動を支援するために設けている各種補助金を活用してまちづくりを行う方法です。

【まちづくり活動のための本市補助金の種類】

ア 区の魅力と活力向上推進補助金

イ “まるごと元気” 地域コミュニティ活性化補助金

ウ 商店街活性化事業補助金（イベント主体型）

エ 三世代同居・近居支援事業補助金

※ 詳細は、参考資料「広島市のまちづくり活動補助制度一覧」のとおり

(2) 「協同労働」制度を活用する手法

「協同労働」とは、働く意欲のある方が集い、みんなで出資して事業を立ち上げ、経営に参画して、まちづくり活動を行う方法です。

広島市では、専門コーディネーターによる計画から事業立上げ、立上げ後の運営相談、立上資金の補助などの支援を行っています。



【協同労働イメージ】

2 地域課題の解決や地域資源を活用した住民主体の取組の紹介

(1) 広島市の各種補助金を活用した事例

ア 区の魅力と活力向上推進事業補助金を活用した事例

《テーマ1》ふるさとの自然発見

① 神乃倉山ふじまつり

神乃倉山公園の約500本のふじの花の咲く季節にあわせて、「ふじまつり」を開催し、地域の盛り上げや神乃倉山の自然の魅力をPRします。



【活動団体 神乃倉山愛山会】

② ふるさと自然発見～自然と遊ぼう～

井原地区の豊かな自然環境を活用して、地域住民やこの地域に関心を持つ人々が気軽に楽しみ、地域の魅力を再発見する新たなイベント「井原わくわくプロジェクト」を開催しています。



【活動団体 井原わくわくプロジェクト】

《テーマ2》ふるさとの歴史・文化発見

① てくてく中郡古道プロジェクト

案内マップ作成・標識の設置や史跡めぐりを開催し、中郡古道の魅力ある資源を周知します。



【活動団体 てくてく中郡古道プロジェクト】

② 大林地区の歴史、文化及び伝統芸能の保存継承

大林地区の伝統芸能である「熊谷踊り」を復活させ継承していくことで、さらなる郷土愛の醸成を図ります。



【活動団体 大林地区文化事業実行委員会】

《テーマ3》まちなか元気づくり

① 「可部のまちめぐり」を中心にした可部のまちの活性化

可部の町の魅力を伝えるイベント「可部の町めぐり」の開催や「花の散歩道」の整備を進め、多くの来訪者を招き入れます。



【活動団体 可部夢街道まちづくりの会】

② ネコ駅長「りょうま」を活用した地域のにぎわいときずなづくり

全国的に知名度の高い志和口駅周辺に住むネコ駅長「りょうま」を活用したイベントなどを実施し、白木町に活気を取り戻すとともに、この活動を通して地域のきずなづくりを行います。



【活動団体 りょうまを見守る会】

《テーマ4》地域のきずなづくり

① なないろマルシェ

個別で活動している団体を集め、親子で一緒に楽しめる催し物、コンサート、屋台などを内容としたイベントを開催し、団体間の連携の強化を図るとともに地域の活性化に取り組みます。



【活動団体 TEAMなないろ】

② 古民家を利用した“まちづくり”事業

古民家を活用した多世代交流事業として、子育て支援「よつばクラブ」や高齢者交流サロン「水曜サロン」など実施し、地域における支えあいの仕組みづくりを行います。



【活動団体 一般社団法人まちづくり四日市役場】

《テーマ5》実りの里づくり

- ① 「田舎暮らし塾」設立による I・Uターンや農村ビジネス企業環境整備
田舎暮らしや農村ビジネスに関心のある都市住民と地域住民で「田舎暮らし塾」を設立し、特産品づくり、都市農村交流イベント等を通じて、地域活性化を図ります。



【活動団体 NPO法人小河内Oプロジェクト】

- ② 「酒」から始める大林復興！地域元気プロジェクト

8. 20豪雨災害により被災し休耕田となっている大林地区の田で自然や文化に触れるイベントを絡め酒米づくりを行い、大林地区のPR、世代間交流、都市農村間交流を推進します。



【活動団体 一般社団法人ふるさと学舎】

《テーマ6》災害に強いコミュニティづくり

① 学生出張カフェプロジェクト

区内在住の大学生が中心となり、土砂災害の被災地で出張カフェを開催し、被災者に寄り添いながら、心のケアにつなげます。



【活動団体 にじカフェ】

② 三入まち物語による地域の魅力再発見と継承プロジェクト

三入地区に伝わる民話、昔話を掘り起し、毎年1つを選んで地元の小学校と連携して絵画コンクールを行い、絵本を制作して頒布・販売することで、地域への愛着心を醸成します。また、民話に現れる災害や8・20豪雨災害の歴史を後世に継承し、災害に対する意識啓発を行います。



【活動団体 三入学区自主防災会連合会】

イ “まるごと元気” 地域コミュニティ活性化補助金を活用した事例

① 新建団地ポータルサイトの運営～団地内の情報共有化～

8. 20 豪雨災害に遭い、甚大な被害が発生した新建団地では、災害を教訓に、災害時の安否確認システムの構築や、雨量計データをメールで送信する等、地域のポータルサイトの充実を図ったほか、実際に安否確認システムを利用した避難訓練を実施しています。



【活動団体 新建自治会】

② 「ハッピーロード」整備事業

地元住民の散歩道となっている太田川河川堤防上に、地元有志と口田中学校生徒で育てた花のプランターを置き、花を植えることで、住民の安らぎの場と絆づくり、散歩する人を増やして健康寿命を延ばします。



【活動団体 口田学区町内会連合会】

③ 東原 空き地を活用した交流花畑づくり

8. 20の豪雨災害で大きな被害を受けた東原地区では、ハード面での復興は進んでいますが、心の安らぎが訪れたとは言えず、その記憶の風化が進みつつあるため、遊休地を活用して町内に「交流花畑」づくりを通して、地域の絆づくりを行うとともに、定期的に交流イベントを開催します。



【活動団体 東原町内会】

④ 石釜の設置とコミュニティ広場作り

鈴張小学校敷地内に石釜を設置し、コミュニティ広場として整備し、ピザ作りやパン作りを通じて、コミュニティの活性化を図るとともに、子どもたちの思い出づくりを行います。



【活動団体 鈴張地区社会福祉協議会】

⑤ 平和学習を軸とした飯室活性化

安佐北区飯室出身の日本画家、丸木位里の作品パネル展示をメインに、篠笛のコンサートや原爆関連のイベントを開催し、飯室に関する歴史を地域住民で学ぶ場を設ける事により、住民間の交流を促進し、コミュニティ活性化と歴史の伝承を行います。



【活動団体 宇津自治会】

ウ 商店街活性化事業補助金（イベント主体型）を活用した事例

① 笑楽笑楽ふれあいフェスタ

笑顔が笑顔を生むイベントとして笑楽笑楽ふれあいフェスタを開催・定着させることにより毎年幼児からご年配まで一堂に出会える機会を提供し、高陽地区のコミュニティ活性化を図ります。



【活動団体 フジグラン高陽名店会】

(2) 「協同労働」制度を活用した事例

ア セカンドステージ

気軽に立ち寄れる多世代交流サロンの開催や、生活支援が必要な高齢者への家事援助をはじめとした生活総合支援を行いながら、希薄になりつつある地域住民のつながりを強めます。



【活動団体 ケサラ】

イ 河津川プロジェクト

耕作放棄地の活用による農業や古代米を使った藁細工の継承・販売を行うとともに、地元の名水の水汲み場を設置し、地区の名水として宣伝します。



【活動団体 河津川プロジェクト】

ウ 地域のだれもが集える「ひねもすようこそ」

地域の障がい児者とその家族を支えるため一時預かりやショートステイを行う他、地域サロン事業や地域の困りごと支え合い事業を行います。



【活動団体 ひねもすようこそ】

エ 『地域は丸ごと大家族』まちづくり事業

高齢者が気楽に集まり色々な悩み事などを互いに相談でき、お楽しみ会、簡単な運動ができる居場所を提供したり、総合生活支援事業や空き家管理事業を行います。



【活動団体 タンポポのわたげ】